

科目ナンバー	TCP-2-003-j			科目名	学校フィールド学習A		
教員名	清水 弘己			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	1
概要	今、学校はさまざまな課題に直面しています。こうした中で教員にはこれまで以上に問題解決のための実践的な力量が要求されるようになってきました。そうした力量を教員養成課程において少しでも身につけることは、将来、教師になる上でとても重要です。また、そのような力量形成のためには、教育現場における子どもたちへの学習支援を通じた豊かな学びが重要な意味をもつと地域児童教育専攻児童教育コースでは考えてきました。「学校フィールド学習」はこのような考えを背景として誕生した科目です。						
到達目標	主に授業を行う「教育実習」とは異なる形で教育現場に関わるのが「学校フィールド学習」です。子どもへの学習支援活動を通して子どもを理解し、同時に授業実践や生活指導の方法等を理解することによって小学校教員としての専門的資質を身につけることを授業の目標にしています。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	「学校フィールド学習」の受講者は、前橋市立筑井小学校で1週間の学習支援活動を行います。この間、学習指導(各教科等の授業)の補助、放課後における指導の補助(寺子屋)等、小学校のニーズに基づいた学習支援活動を行い、終了後、大学でふり回りの学習を行うことになります。なお、「学校フィールド学習」授業説明会、事前指導、事前訪問、事後指導等は大学教員の担当者によって行います。なお直前指導は、予定表に記された各週担当教員が、学習支援活動の前週に個別に行います。また、学習支援活動の前週に週担当教員から直前指導を受けることになります。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング	○	課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	「学校フィールド学習」は、大きく2つに分かれています。一つは「学校フィールド学習A」であり、もう一つは「学校フィールド学習B」です。「学校フィールド学習A」は、児童教育コース2年次の必修科目となっています。国際社会専攻の小学校免許取得希望者は、3年次以降の必修になります。「学校フィールド学習B」は、児童教育コース3年次、および国際社会専攻の教職課程履修者4年次の選択科目となっています。ただし、児童教育コースの中学・高等学校免許取得希望者は、必ず履修登録してください。児童教育コース生にとって「学校フィールド学習A」は、卒業単位に含まれる科目なので必ず受講しなければなりません。なお、国際社会専攻教職課程履修者で、この授業の受講希望する者に対しては、面接を行います。面接の結果をふまえて受講を認められた者のみ履修を許可します。面接の日程等については掲示板での連絡、「学校フィールド学習」授業説明会でお知らせする予定です。各自、確認してください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	・アセスメントポリシー:単位数は「学校フィールド学習A」、「学校フィールド学習B」それぞれ1単位となっています。原則として学習支援活動期間の2/3以上活動した者に対して単位の認定を行います。 ・評価方法:この学習支援活動とは別に、学習支援活動終了後の課題レポートの提出、「学校フィールド学習」授業説明会・事前指導・前橋市立筑井小学校への事前訪問・事後指導を受講しなければ単位の認定はされません。評価は「認定」となります。						
教材	特にありませんが、履修した教科や教職に関するテキスト等をよく復習しておいてください。						
参考図書	特にありませんが、履修した教科や教職に関するテキスト等をよく復習しておいてください。						
内容・スケジュール	「学校フィールド学習」の流れ①「学校フィールド学習」授業説明会への参加「学校フィールド学習」とは何かについて理解するために、4月のはじめに開かれる授業説明会に必ず出席してください。②履修登録「学校フィールド学習」の履修登録を事務局がMIDSで行います。この時、「集中講義」扱いとして登録されています。*国際社会専攻教職課程履修者は勝手にMIDS登録をしないでください。面接終了後、受講許可者のみを事務局でMIDS登録します。③事前指導の受講 事前指導にも必ず出席しなければなりません。事前指導に出席しなければ「学校フィールド学習」の受講は認められませんので、必ず出席してください。事前指導では主に学習支援活動の留意点、その他を学びます。事前指導では前橋市立筑井小学校の先生にも指導していただきます。④学習支援活動の日程決定 掲示板で学習支援活動の日程を発表します。原則として割り振られた日程の変更は認めません。各自、日程をしっかりと把握してください。⑤前橋市立筑井小学校への事前訪問 受講者全員と大学教員が前橋市立筑井小学校を訪れ、打ち合わせをします。この時、小学校の施設等の見学もします。前橋市立筑井小学校への事前訪問にも必ず出席しなければなりません。⑥学習支援活動の開始 それぞれ決められた日程で、原則として1週間、前橋市立筑井小学校で学習支援活動を行います。⑦学習支援活動の終了 ⑧レポートの提出 学習支援活動が終わったら、1週間以内にレポートをレポートボックスへ提出します。これも単位認定の資料となります。レポートが提出されない場合は単位を認められません。*レポートは、次の要領で作						

成し提出すること。（「子どもの理解」「学校教育活動全般」「その他気づいたこと・考えたこと」の観点から作成する。その場合、A4縦で横書き40字×30行、3600字以上とする。）⑨事後指導の受講 受講者全員の学習支援活動終了後、事後指導が行われます。日程等については掲示板等で連絡がありますので、確認の上必ず出席してください。事後指導をもって「学校フィールド学習」の終了となります。*授業説明会・事前指導・前橋市立筑井小学校への事前訪問・事後指導等の日程については掲示板で連絡いたします。各自、確認の上出席してください。

Number	TCP-2-003-j	Subject	On-site Training in Schools A		
Name	清水 弘己 (Shimizu Hiromi)	Year and Semester		Credits	1
Course outline	<p>The school is faced with various tasks now. Under these circumstances, faculty members are required to have more practical ability to solve problems than ever. It is very important to be able to become a teacher in the future to acquire such competence at least in the teacher training course. In order to create such competence, we thought that rich learning through learning support for children at the educational site has important meanings in the child education course. "School field learning" is a subject born on the background of this idea.</p>				